

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

第3061870号

(45) 発行日 平成11年(1999) 9 月24日

(24) 登録日 平成11年(1999) 6 月23日

(51) Int.Cl.⁸

識別記号

F I

G 0 9 F 3/10

G 0 9 F 3/10

H

3/00

3/00

P

評価書の請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 実願平11-566

(22) 出願日 平成11年(1999) 2 月10日

(73) 実用新案権者 599017553

長島 貞光

埼玉県浦和市南浦和 2 丁目15番 7 号

(72) 考案者 長島 貞光

埼玉県浦和市南浦和 2 丁目15番 7 号

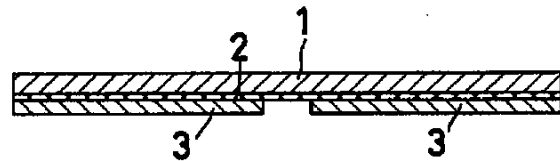
(74) 代理人 弁理士 渡辺 徳廣

(54) 【考案の名称】 粘着シール

(57) 【要約】

【課題】 不慣れな一般人でも、簡単、且つ容易に、また正確に指定位置に貼り付けることができるようにした粘着シールを提供する。

【解決手段】 シート 1 の裏面に粘着剤層 2 を形成すると共に、該粘着剤層 2 の下面に剥離紙 3 を接着し、更に該剥離紙 3 の一部に予め帯状にカッティングを施して位置決め用剥離片 4 を形成する。



1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 シートの裏面に粘着剤層を形成すると共に、該粘着剤層の下面に剥離紙を接着し、更に該剥離紙の一部に予め帯状にカッティングを施して位置決め用剥離片を形成して成る粘着シール。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案粘着シールの縦断面図である。

【図2】 同使用方法を示す縦断面図である。

【図3】 同使用方法を示す縦断面図である。

2

【図4】 同使用方法を示す縦断面図である。

【図5】 同使用方法を示す縦断面図である。

【図6】 同使用方法を示す縦断面図である。

【図7】 同使用方法を示す縦断面図である。

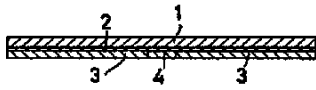
【図8】 同使用方法を示す縦断面図である。

【図9】 従来の粘着シールの縦断面図である。

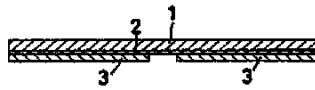
【符号の説明】

1 シート、 2 粘着剤層、 3 剥離紙、 4 位置決め用剥離片。

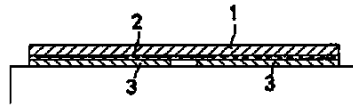
【図1】



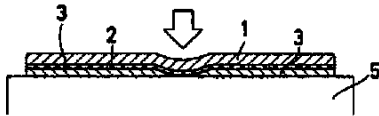
【図2】



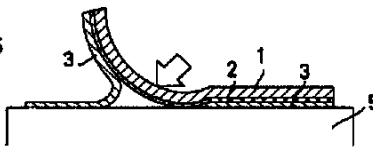
【図3】



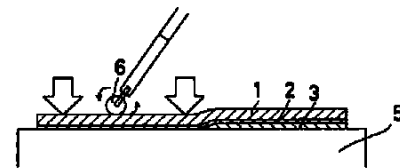
【図4】



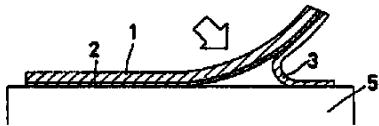
【図5】



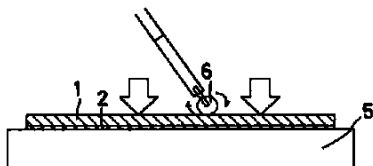
【図6】



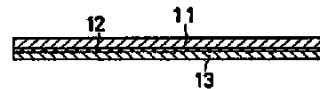
【図7】



【図8】



【図9】



【考案の詳細な説明】**【0001】**

【考案の属する技術分野】 本考案は、粘着シールを指定位置に正しく貼り付けることができる粘着シールに関するものである。

【0002】

【従来技術】 従来の粘着シールは、図9に示すように、シール11の裏面に粘着剤層12を形成すると共に、該粘着剤層12の下面に剥離紙13を接着して形成されている。

【0003】

【考案が解決しようとする課題】 前記従来の粘着シールを展示用パネルや所定品に貼り付ける場合、指定位置に正しく貼り付けるには熟練を要するという課題があった。これは粘着シールの大きさが大きくなるほど、また複雑な形状であるほど、この傾向は顕著となる。

【0004】 その理由は、シート11を裏面の剥離紙13から剥離するときに生ずる静電気によって、シート11の先端の位置は極めて不安定になり、指定位置と異なる個所にシート11が貼り付いてしまったり、また同じく静電気の作用によってシート11の粘着剤層12に空気が入ってしまい平滑に貼り付けることができないのである。

【0005】 本考案は前記従来の課題を解決すべくなされたもので、熟練を要することなく、指定位置に正しく貼り付けることができる粘着シールを提供しようとするものである。

【0006】

【課題を解決するための手段】 本考案は、シールの裏面に粘着剤層を形成すると共に、該粘着剤層の下面に剥離紙を接着し、更に該剥離紙の一部に予め帯状にカッティングを施して位置決め用剥離片を形成するという手段を採用することにより、上記課題を解決した。

【0007】

【考案の実施の形態】 本考案は、不慣れな一般人でも、簡単、且つ容易に、また正確に指定位置に貼り付けることができるようにしたものである。そして、本

考案粘着シールは、図1に示すように、シート1の裏面に粘着剤層2を形成すると共に、該粘着剤層2の下面に剥離紙3を接着し、更に該剥離紙3の一部に予め帯状にカッティングを施して位置決め用剥離片4が形成してある。

【0008】前記構成より成る本考案粘着シールの使用方法につき説明すると、先ず図2に示すように位置決め用剥離片4を剥がし、その部分の粘着剤層2を露出させる。

【0009】次に図3に示すように、剥離紙3の端部を被粘着物5の指定位置に合わせ全体の位置決めを行う。前記全体の位置決めを行った後、図4に示すように前記露出した粘着剤層2をシート1上より軽く押さえることによって、粘着シールは指定位置に仮止めされる。そして、図5に示すように、前記仮止め後に左右に分割された一方側の剥離紙3を前記カッティング側から徐々に剥がしつつ、図6に示すように指または押さえローラー6で圧着して接着する。

【0010】その後、図7で示すように他方側の剥離紙3を前記と同様方法で徐々に剥がしつつ接着し、図8で示すように最後に全体を手または押さえローラー6で圧着して、粘着シールの貼り付け作業が完了する。

【0011】

【考案の効果】本考案は上述のようであるから、指定位置に合わせて仮止め接着し、然る後本接着するという方法を採用することができる構成より成っているので、不慣れな一般人でもどのように被粘着物へでも粘着シールを手軽に、且つ正確に指定位置に貼り付けることができる。また、その製造も極めて簡単にでき、且つコストも安いという効果を奏する。